電気泳動前処理キット

【目的・用途】

生体試料などから得られるサンプル中には、電気泳動を阻害する物質（塩類、界面活性剤など）が含まれています。特に、二次元電気泳動の一次元目電気泳動などでは阻害物質が結果に大きな影響を与えますので、除去が必須です。また、希薄なタンパク質サンプルの場合には、電気泳動前に濃縮する必要があります。

本キットでは、酸や有機溶媒によりタンパク質が不溶化する性質を利用してタンパク質を沈殿させ、阻害物質の除去とタンパク質の濃縮を同時に行うことができます。

【特徴】

1) 夾雑物を除去し、電気泳動パターンの分離向上

2) 共沈剤によって高効率のタンパク質沈殿が可能

3) 低コスト、ルーチンワークにも最適

【キット内容・保存方法】

電気泳動前処理キット 50 回分　SR-4011

内容	容量	保管温度
Solution A	25mL	室温
Solution B	5mL	室温
Solution C	50mL	使用前に－20°C

【本品以外に準備が必要な器具】

- マイクロチューブ
- ボルテックスミキサー
- 超純水
- 正確なピペット
- -20°Cフリーザー

【プロトコール】

1） SolutionC を-20°Cフリーザーで冷却します。

2） 1～100μL のサンプルに Solution A を 500μL 添加し、ボルテックスなどでよく混合します。

3） 氷上にて 30 分間静置します。

4） Solution B を 100μL 添加し、ボルテックスなどでよく混合します。

5） 室温にて 10 分間静置します。

6） 遠心分離（15,000×g，10 分間，4°C）して、上清を除去します。この際、沈殿ペレットにチップの先などが触れないように注意してください。

7） 超純水を 50μL 添加し、ボルテックスなどでよく混合します。

8） あらかじめ－20°Cフリーザーで十分に冷却した Solution C を 1mL 添加し、ボルテックスなどでよく混合します。
※沈殿を十分に洗浄することが重要です。必要であれば超音波洗浄機で沈殿を拡散させてください。

9） －20°Cフリーザーなどで 30 分間静置します。10 分毎にボルテックスなどでよく混合します。

１０）遠心分離（15,000×g，10 分間，4°C）して、上清を除去します。遠心分離機にチューブをセットする際には、チューブの向きが上記工程 5）および 7）と同じになるようにしてください。

１１）得られたペレットを室温で 1～2 分間程度乾かします。乾かしすぎると以降の操作でこのペレットが溶解しにくくなりますので、ご注意ください。

１２）SDS-PAGE の場合、SDS-PAGE 用サンプルバッファーを加え、熱処理を行います。二次元電気泳動の場合、二次元電気泳動用バッファーなどに溶解します。

株式会社ファーマフーズ アプロサイエンスグループ
〒770-0865 徳島県徳島市南末広町４-53 エコービル４階
■Ｔｅｌ：088-678-6372 ■Mail：bio@apro-s.com
■Ｕｒｌ：https://apro-s.com/
本社 〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原1-49